

令和5年度 登別市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本年度は、人口減少や節水意識の高まりにより、下水道使用料の収益が減少したほか、物価上昇等に伴い維持管理費が増加するなど、引き続き厳しい経営環境に置かれました。

こうした厳しい社会情勢の中、持続可能な事業経営を行うため、コスト縮減に努めながら、維持管理に資する施設整備を計画的に実施するなど、効率的な経営に努めました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ24,793m³減少の3,066,393m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ108m³増加の17,595m³となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、中央町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所の改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの計装設備の改築更新を行いました。

ハ 施設の現状

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

- ・終末処理場 若山浄化センター

(施設構成) ポンプ棟、オキシデーションディッヂ、最終沈殿池、塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟

- ・ポンプ場 3か所 (若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場)

- ・管渠 汚水管 延長 264, 064. 28m
雨水管 延長 4, 829. 58m

ニ 財政状況

収益的収支 (税抜き)

収入は、営業収益7億441万2, 262円（うち使用料6億4, 708万6, 771円）、営業外収益9億4, 428万770円、特別利益659, 886円の合計16億4, 935万2, 918円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億3, 901万7, 464円、営業外費用2億235万8, 006円、特別損失18万3, 540円の合計15億4, 155万9, 010円となり、収支差引による当期純利益は1億779万3, 908円となりました。

資本的収支 (税込み)

収入は、企業債6億6, 840万円、負担金及び分担金1, 050万8, 594円、補助金4億1, 403万8, 884円の合計10億9, 294万7, 478円となりました。

これに対し支出は、建設改良費5億9, 170万673円、企業債償還金12億4, 527万6, 382円の合計18億3, 697万7, 055円となり、収支差引による不足額は、7億4, 402万9, 577円となりました。

この不足額については、損益勘定留保資金などで補てんしました。